

β -SGR 処理速度(実行時間)比較

β -SGR フォーカサーを用いた場合の画像処理等にかかる時間や CPU の処理能力について、ご質問をいただきましたので、実行時間の比較テストを行いました。

解析画像: 4272x2848、EOS40D、JPEG L 画像、11カット

ファイルサイズ: 約3MB 注)リアルタイム処理の場合は、露出時間+ファイル転送時間がプラスします。

CPU	フォーカシング動作	フォーカス解析
PentiumM 1.2G、RAM768MB Win.XP Pro (NEC.Note)	39秒	115秒
Core 2 Duo 2.0G、RAM2GB Win.XP Pro (H.P.Note)	15秒	45秒

解析画像: 3326x2504、16bit、Fit ファイル、FIL,ML8300+MaxIm DL5、11カット

ファイルサイズ: 16.271MB 注)リアルタイム処理の場合は、露出時間+ファイル転送時間がプラスします。

CPU	フォーカシング動作	フォーカス解析
PentiumM 1.2G、RAM768MB Win.XP Pro (NEC.Note)	90秒	200秒
Core 2 Duo 2.0G、RAM2GB Win.XP Pro (H.P.Note)	35秒	80秒

コメント: 実行速度についてですが、撮像全画面の評価を行う場合は、大きな画像ファイル进行处理しますので、CPU 処理能力よりも搭載メモリ容量の方が重要と思われます。処理都度メモリの解放は行いますが、OS(Windows)の構造上ある程度(1GB以上推奨)のメモリが必要です。メモリ搭載量が少ない場合でも実行出来ますが、処理速度が極端に遅くなりますので、処理画像を小さくする等の工夫をすることによって使用可能です。

処理画面:

